

一級自動車工学科・自動車整備科 2025年度 授業計画

時期	2年C巡	単元	実習	教科名	2C_車体電装3		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	実習ノート		発行日		
			サーキットテスト				
総時限	23時限		ラインマーカー	教科 担当	木藤 志津雄		
総時間	36.8時間		クロームブック			中川 徹也	
単位数	1						

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法等を指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①車体電装品の構造、機能を理解する。
- ②車体電装品の点検、故障診断の判定が出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ①パワーウィンドウ装置の構成部品、名称、作動、電流の流れが理解出来るようになる。
- ②パワーウィンドウ装置の着脱、点検、故障原因探求が出来る。
- ③車体電装品の配線図からの回路の抜き出し、点検が出来る。
- ④外部診断機（コンサルト4）、サーキットテストによる電気回路の測定、故障判定が出来る。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①パワーウィンドウ装置の故障原因探求。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
一年C巡電気2の実習ノートを基に電装品の故障診断方法を確認し復習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

時期	2年C巡	単元	実習	教科名	2C_車体電装3	
7. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	実習導入、概要説明 パワーウィンドウ装置の構造、機能/座学				KE0	10
2	実習導入、概要説明 パワーウィンドウ装置の構造、機能/座学				作業台 (大) 黒	10
3	パワーウィンドウ装置構成部品確認				コードリール	4
4	パワーウィンドウ装置システム確認(オート作動、タイマ機能、ロックSW、挟み込み防止)				運転席PWチェックボックス	10
5	パワーウィンドウ装置構成部品、脱着1(サイドドアパネル、サイドウィンドガラス)				ドアミラーチェックボックス	10
6	パワーウィンドウ装置構成部品、脱着2(故障診断用ハーネス取り付け)				助手席PWチェックボックス	10
7	パワーウィンドウ装置正常電圧測定 1				電導師	10
8	パワーウィンドウ装置正常電圧測定 2				コンサルト3Plus	10
9	パワーウィンドウ装置正常電圧測定 3				オシロスコープ	10
10	パワーウィンドウ装置正常電圧測定 4				プローブ	20
11	パワーウィンドウ装置正常電圧測定 5				木片 (挟みこみ防止作動確認用)	10
12	故障原因探求の進め方/座学				実習ノート	学生数
13	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 1				チェックボックスblankシート	学生数
14	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 2				フェンダーカバー	10
15	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 3				フロントグリルカバー	10
16	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 4				ハンドルカバー	10
17	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 5				シートカバー	10
18	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 6				マットカバー	10
19	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 7					
20	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 8					
21	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 9					
22	故障原因探求 (パワーウィンドウ) 10					
23	総合演習					
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						